【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【公開番号】特開2006-231038(P2006-231038A)
【公開日】平成18年9月7日(2006.9.7)
【年通号数】公開・登録公報2006-035
【出願番号】特願2006-9141(P2006-9141)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　13/12　(2006.01)
Ａ６３Ｆ　 5/04　(2006.01)
Ａ６３Ｆ　13/08　(2006.01)
Ａ６３Ｆ　13/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　13/12　Ｂ
Ａ６３Ｆ　 5/04　５１１Ｚ
Ａ６３Ｆ　13/08
Ａ６３Ｆ　13/00　Ｂ
Ａ６３Ｆ　13/00　Ｍ

【手続補正書】
【提出日】平成22年8月4日(2010.8.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
そこで、この場合の問題点を解決するために、１人用ゲームを行う遊技機であるスロットマシンを、多人数参加型ゲームを構成する端末として構成したゲームシステムも発明されている（特許文献２参照）。
この場合に、スロットマシンでは、スロットマシン本来のゲームが表示される表示部と、多人数参加型ゲームに関する表示がなされる表示器が配設されている。この表示器は、前記表示部の上部に配設されており、タッチパネルで構成されている。即ち、当該表示器を押圧することで、多人数参加型ゲームに関する操作を行うことができ、スロットマシンの設置位置から離れることなく、異なる場所に設置されている多人数参加型ゲームに参加することができる。従って、１つのゲーム機で、スロットマシンに係るゲームと、多人数参加型ゲームとの両方のゲームに参加することができる。
また、これと同様なスロットマシンとして、１つの画面において、表示画面を１人用ゲームに関する表示と、多人数参加型ゲームに関する表示に完全に切り換えることにより、スロットマシンの設置場所から離れることなく、どちらのゲームも実行可能なものも存在する（特許文献３参照）。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
【特許文献１】特開２００３－１３５８５５号公報
【特許文献２】特開２００４－３０５４４０号公報

【特許文献３】特開２００５－１１８１０４号公報
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
一方、前述したスロットマシンでの遊技を行いつつ、多人数参加型ゲームにも参加可能な特許文献２記載の遊技システムにおいては、多人数参加型ゲームの操作を行う際には、上部に配設されている表示器を押圧しなければ、多人数参加型ゲームに参加することができない。
従って、例えば、スロットマシンに係る操作を座席に着座した姿勢で行うものとした場合には、多人数参加型ゲームに係る操作を立ち上がって操作を行わなければ、多人数参加型ゲームに参加することができない。
このように、１人用ゲームと、多人数参加型ゲームとの操作において、どちらか一方のゲームに係る操作がしにくくなるという問題点がある。
また、１つの画面の表示を１人用ゲームに関する表示と、多人数参加型ゲームに関する表示に完全に切り換える特許文献３記載のスロットマシンでは、上述のスロットマシンに比べ、表示の切り換え操作のみでよいので、操作がしにくいという問題はないが、一方のゲームを行っている場合には、他方のゲームに関する表示は表示されない。
従って、例えば、スロットマシンを行っている場合には、多人数参加型ゲームの状況を知ることはできず、多人数参加型ゲームを行っている場合には、スロットマシンの状況を知ることはできないので、１人用ゲームと、多人数参加型ゲームの両方を十分に楽しむことができるものではなかった。